

特定非営利活動法人アサザ基金
第 12 期（2010 年度）事業計画

2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日

第 12 期（2010 年度）事業計画

—目 次—

湖の再生事業と学校ビオトープネットワーク事業	3-4
環境教育事業	4-7
水源地保全事業	7-14
地域循環型社会構築に関わる事業	14-16
複数の事業にかかわる助成	16-17
自主事業	17-20
第 12 期事業年度会計収支予算書	21

アサザプロジェクト第12期事業計画

● 湖の再生事業と学校ビオトープネットワーク事業

アサザ基金では、市民型公共事業の一環として市民参加による霞ヶ浦の植生帯再生と生物多様性の保全、住民と霞ヶ浦の絆の再生、小学校での環境教育などを以下のように行います。

- ① 霞ヶ浦の冬期水位上昇を中止するため、多種多様な活動を行います。
- ② 霞ヶ浦・北浦に造成された11ヶ所の浅瀬や他の再生地を利用し、植生帯再生を目指して、アサザ、ヨシ、マコモ等の植付けを行います。
- ③ アサザの系統保存など植物の保存育成場所として、約100校の学校ビオトープ等の環境維持を行います。学校や地域住民による積極的な植付けおよび植付け場所の環境管理を進め、生物種の変化を把握する調査を行います。
- ④ アサザ、ヨシ、マコモ、ヤナギなどの植付けや環境管理等、公募等によって広く市民の参加を求めています。
- ⑤ 植生帯復元地区での植付けや環境管理作業をとおした環境学習を推進します。一人でも多くの子供も達に湖の中での活動を体験してもらいます。
- ⑥ 地元学校の協力により、かつての湖岸環境について地域住民からの聞き取り調査による把握を進めます。

収 支 計 画

霞ヶ浦ゆめ基金、助成金等をあてて実施していく予定です。

○ 市民による湖岸モニタリング事業

自然が再生された現場は生物に評価してもらうことが一番適切です。そのために、地域で生物と共に暮らしている住民が日常生活の一部としてモニタリングができるように適宜、アサザのお花見会などのイベントを開催します。

○ アサザの里親

アサザの里親活動は、学校や団体向けの系統保存株の株分けを中心に進めます。株の配布は、1) 学校等の団体、2) 流域住民、3) 既に苗を戻したことがある里親かつ会員であること、4) 里親誓約書を取り交わした団体、個人のいずれかの条件を満たす方(団体)で実施いたします。

○ アサザの植付会の実施

アサザの植付会を里親、学校や企業ボランティア向けに実施します。植生帯復元事業と連携して行い、アサザの他、マコモやヨシなどの抽水植物の植付けも実施します。植付会

は、一般市民、里親の参加を促すため公募で実施します。

○ 水郷トンボ公園の維持管理

潮来ジャランボプロジェクト実行委員会が、トンボ公園内の生物の生息環境に配慮した維持管理を行っています。アサザ基金では、ボランティアの斡旋や5月の開園作業、冬越作業のお手伝いを中心に全面的に支援していきます。

○ 駅ビオトープの維持管理

JR常磐線高浜駅と石岡駅に設置されている2ヶ所の駅ビオトープの維持管理を行います。

○ 銚田市での谷津田ため池の維持管理

ため池ビオトープ（銚田市野友）の維持管理を、NPO法人エコタウンほこたと協力して取り組みます。

● 環境教育事業

アサザ基金では霞ヶ浦流域の小中学校を中心に1998年から「出前授業」を始めました。これまでに参加校は200を越えています。水辺の動植物やビオトープ、身近な自然を生かした野外観察などの環境教育を講師派遣により支援しています。最近では生き物と共生するまちづくりの提案や、自分たちの地域を見直すブランドづくり授業など、多彩な環境学習プログラムも提供しています。今年度も秋田県八郎湖周辺や三重県、沖縄県など全国規模で展開する予定です。NECキャピタルソリューション（株）やシャープ（株）との協働による出前授業も継続して進めていきます。

○ 学校ビオトープから始まるまちづくり事業

（牛久市教育委員会との協働事業 2004年から7年目）

牛久市内の小中学校を対象に総合的な学習の時間を利用して実施します。

「牛久市の自然特性の理解」「学区ごとの自然環境データの収集」を通して、「生物（他者）の視点になっての地域資源探し」を行います。自分のまちのどこが生物と共存していく上で障害となっているのか、地域の資源を生かしてどう改善していけるのか、学習をとおして最終的な「あたらしい牛久のまち」を具体的に提案し、施策への反映を目指します。

現在、総合的な学習のあり方や社会参加の意欲を育てる学習のあり方が問われる中、子ども達の創造力・総合力を伸ばし教科学習と連動するプログラム作りが求められています。

2004年度からの活動実績が認められ、今年度より牛久市の事業委託を受け、実施することとなりました。

1. 事業計画

- (1) まちづくり学習プログラムの作成と実施
- (2) 学校支援を目的とした実行委員会の定期的開催
- (3) 地域への学習成果発表の実施
- (4) 事業前後の意識調査の実施、成果の公表
- (5) 学校での成果を活用し、より地域に波及する事業運営を行います

2. 収支計画

平成 21 年度学校ビオトープから始まるまちづくり事業

(牛久市事業委託 2009 年 4 月 21 日～2010 年 3 月 31 日)

(収入)

事業委託料	822,816円
-------	----------

(支出)

講師派遣費として 288 人分	822,816円
計	822,816円

財団法人 河川環境管理財団 「河川整備基金助成事業」

2009 年 6 月～2010 年 5 月

(収入)

河川環境管理財団助成費	500,000円
-------------	----------

(支出)

器具・備品費	150,000円
人件費	250,000円
広報費	100,000円
計	500,000円

○ 松戸・川と風を感じるまちづくりプロジェクト (2009 年度から 2 年目)

松戸の川と風を活かした環境学習をもとに、学校や地元商店会、行政などの多様なコミュニティと協力して、温暖化防止や地域活性化を盛り込んだまちづくりを進めていきます。前年度の子供たちによる提案をうけ、商店街と協働で「ハグロトンボの日の制定」や、「ハグロトンボ、川風に関するアンケート」などを行っていきます。

○ 原宿表参道・森の恵み・森の風プロジェクト (2009 年度から 2 年目)

原宿・表参道という大都市の中に、神宮の森から広がる自然の恵みを活かしたまちづくりを小学校や地元商店街の協力を得ながら進めていきます。神宮の森から広がる風の道や、生きものの道など、訪れる人に原宿・表参道に眠っていた価値に体感、共有してもらいたいイベントも開催する予定です。

○「環八郎湖・霞ヶ浦アサザプロジェクト出前授業 in ハチロウキッズ」
(秋田地域振興局協働事業 2004年から7年目)

秋田県八郎潟流域では、2004年から秋田県秋田地域振興局が中心となってアサザプロジェクトをモデルにした事業を進めてきました。今年度は、地元関係者が立ち上げた NPO 団体が環境学習支援に加わり、新体制を築いていく節目の年となります。アサザ基金では昨年同様、企画、運営にかかわる助言や、地域再生の主役となる子どもたちに様々な学習プログラムを提案していく予定です。八郎湖流域の子ども達と霞ヶ浦流域の子ども達との交流会は今年度も継続します。

○「大潟村トンボ実態調査」

(大潟村農地・水・環境保全向上対策推会議受託事業 2007年度から4年目)

大潟村では、環境保全型農業が広く進められている場所です。アサザ基金では農法と自然環境との関係性を明らかにし、それを商品価値に付与する提言を行い、自然環境指標となるトンボの調査を2007年度から実施しています。

秋田県大潟村の大潟村農地・水・環境保全向上対策会議より、以下の内容について業務を受託、実施します。

- 大潟村の環境状況把握のためのトンボ実態調査
- 調査結果に基づく農業を通じた村づくりの提案

収 支 計 画

実施実績にもとづいた費用積算のため未定です。

○ わくわく子どもの池プロジェクト

(NECキャピタルソリューション(株) 協働事業 2007年度から4年目)

NECキャピタルソリューション(株)は、2007年度に立ち上げた「わくわく子どもの池プロジェクト」を当基金と協働で継続します。東京都内4~6校と北九州の小学校、金沢市の幼稚園が新たに加わる予定です。支援を希望する小中学校にビオトープを造成し、アサザプロジェクトの学習プログラムを提供します。学習プログラムをとおして、地域の人に関わる場、生きものが集まる場を作り、地域ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりを企業の社会貢献の一環として行います。環境保全にとどまらない、総合的な地域づくりを進めることで「トキが舞う日本」を目指します。

1. 事業計画

- (1) 参加校：NECキャピタルソリューション(株)支店のある地域から、新たに4~6校が参加。
- (2) 学習基本カリキュラム
新規校対象(全5回)

- ・ 生きものとお話しよう
- ・ 学校の生きものとお話しよう/学校の周りの生きものの道を調べよう
- ・ ぼくたちの考える生きものの道づくり(提案発表)
- ・ 生きものの道を作ろう(ビオトープ造成または改修)
- ・ 生きものの道を調べよう(事後調査)

2. 収支計画

実施実績にもとづいた費用積算のため未定です。

- 「シャープ(株)と気象キャスターネットワークとの協働による小学校環境教育」(シャープ(株)協働事業 2008年から3年目)

アサザ基金のこれまでの活動成果が認められ、シャープ株式会社が全国の小学校で展開する環境教育の一つの提供プログラムとして協働授業が始まりました。この取組はシャープ株式会社、NPO法人気象キャスターネットワーク、アサザ基金の3者協働事業としてすすめていきます。年間20校程度実施する予定です。

収 支 計 画

実施実績にもとづいた費用積算のため未定です。

● 水源地保全事業

- NECたんぼづくりプロジェクト with アサザ基金
(日本電気(株)CSR推進本部環境推進部委託 2004年から7年目)

社員の環境意識啓発を目的とした酒米栽培体験によって、水源地保全・地域コミュニティの活性化を目指す「NECたんぼ作りプロジェクト with アサザ基金」を実施します。水源地を汚染しない農業(稲作等)体験で環境意識の向上を図るとともに、環境センサーを活かしたアプリケーション開発の実験フィールドとしても利用します。

企業(社員啓発、新技術開発)、地元(地域振興)、NPO(水源地保全)とそれぞれの目的を達成することで、共通の目標「トキ舞う谷津田」の実現を目指します。

1. 業務内容

- (1) 自然体験型環境意識啓発プログラムの一環とする全社行事の事前準備及び当日運営
- (2) 全社行事の開催に必要な水田の維持管理
- (3) 次年度における全社行事の年間計画立案
- (4) その他関連・付帯する業務

2. 事業計画

(1) 2010年度は6回の全社行事および達人向け行事を20回予定します。

全社行事 田植え(5月)
草取り(7月)
稲刈り(10月)
脱穀(11月)
酒仕込み(1月)
新酒蔵出し(3月)

達人コース 1年をとおして実践的な内容で20回の実施予定。

(2) 展開について 本事業をモデルとした取組が流域各地で始まっています。より幅広い展開を目指して企画、提案を行ってゆく予定です。

3. 収支計画

(収入)

委託費	6,000,000円
-----	------------

(支出)

社員啓発	環境意識啓発体験フィールド借利上げ費用	155,000円
業務委託費	栽培管理委託費用	1,500,000円
	体験プログラム費用	2,500,000円
	醸造委託製造費	2,000,000円
合計		6,000,000円

○ NEC谷津田再生・生き生きプロジェクト(仮名)

(日本電気株)CSR推進本部環境推進部協働 2010年から新規)

石岡市東田中で行われています「NEC田んぼ作りプロジェクト with アサザ基金」の他に、現在牛久市上太田地区の谷津田でも新たな谷津田再生事業を展開しております。上太田地区での谷津田は現在耕作放棄地が広がっており、人の手が加わっていない状況にあります。そのため、水源地としての維持や利水/治水効果、さらには生態系の多様性が失われようとしております。

そこで、この谷津田において復田前から企業とともに協働で活動し、復田前後の生態系の把握や復田に向けた地域との関わりの構築をするとともに社員への環境意識の啓発も含め、活動していきます。また、上太田地区は牛久市においても環境保全の重点地区として位置づけられており、行政とも積極的に関わりながら進めていきます。そして、それぞれの目的を達成することで、共通の目標「トキ舞う谷津田」の実現を目指します。

1. 業務内容

(1) 谷津田再生に向け、関係する地域、企業、アサザ基金の役割と関わりの策定

- (2) 行事の年間計画立案
- (3) 自然体験型環境意識啓発プログラムの一環とする全社行事の事前準備及び当日運営
- (4) その他関連・付帯する業務

2. 事業計画

上太田地区における2010年度プログラムは全4回実施予定

- 第1回 生きもの調査 ～春～ (4月)
- 第2回 生きもの調査 ～夏～ (7月)
- 第3回 生きもの調査 ～秋～ (10月)
- 第4回 生きもの調査 ～冬～ /復田作業 (11年2月)

3. 収支計画

- (1) プログラム毎に人件費を含めた必要経費を精算します。
- (2) その他、必要な経費詳細についてはその都度協議の上決定します。

○ 三井物産谷津田再生プロジェクト

(三井物産(株)委託事業 2007年から4年目)

牛久沼の水源である谷津田の復元と再生を、社員の環境意識啓発事業という位置づけで行う「三井物産谷津田再生プロジェクト」として実施し、水源地を汚染しない農業(稲作等)体験で環境意識の向上をねらいます。

また、谷津田でのプログラムを通して、生物多様性の保全に向けた取組みも行っていきます。

1. 業務内容

- (1) 三井物産役職員およびその家族を対象とした米づくりを中心とした自然体験プログラムの計画立案
- (2) プログラムを実施する谷津田の借り上げ手配
- (3) 谷津田における基盤整備、米づくり、そのほか維持管理
- (4) 谷津田でつくる米を使用した酒醸造の委託手配
- (5) 個別プログラムの実施
- (6) そのほか上記各項目に関連する業務

2. 事業計画

- 田植え(5/15)
- 草取り(6/26)
- 草取り・ホタル観察(7/31)
- 稲刈り(10/23)
- 酒仕込み(1月下旬頃)

新酒蔵出し（3月）

3. 収支計画

現在、契約手続きをすすめているため積算中です。

○ 損保ジャパン環境財団CSOラーニング生による水源地保全を目的にした 援農プロジェクト（損保ジャパン環境財団助成事業 2005年から6年目）

損保ジャパン環境財団は「木を植えるより、木を植える人を育てたい」というビジョンの下、社員の寄付によって学生に環境NPOで働く機会（CSOラーニング制度）を提供しています。アサザ基金は、2005年度からCSOラーニング生を受け入れています。その活動の一環として今年度も昨年度に引き続き霞ヶ浦の水源地である石岡市半田の谷津田（ひょうたんぼ）で水源地保全型農業の稲作作業を支援します。2011年度から、たんぼを現在の場所から牛久市内に変更することが決定しており、そのために新たな人材育成プログラムを実施します。このプログラムは、CSOラーニング生が水源地の荒廃や耕作放棄地などの問題に気づき、新たなたんぼの選定や企画づくり、稲作体験、さらには湖の再生、漁業活性化、湖の水源地保全の効果がある煎餅づくりに関わることで、視野の広い人材を育成することを目的としたものです。現在、このプログラムを実施すべく、損保ジャパン環境財団さんと調整が進んでいます。

1. 事業計画

石岡（現在の場所）にて稲作体験

畦直し・水路整備（4/10）・田植え（5/8）・草取り①（5/15）・草取り②と霞ヶ浦ツアー（6/26-27）・稲刈り・脱穀

牛久（来年以降の場所）にて谷津田再生に向けた活動

たんぼ選定・地主との交渉・煎餅づくり現場見学など

2. 収支計画

（収入）

協賛金	円
-----	---

（支出）

プログラム提供費	円
維持費	円
機械レンタル費・回送費・操縦費	円
謝金	円
合計	円

○ UBS RICE Project

(U B S 証券会社委託事業 鹿嶋市山之上 2008 年～、潮来市清水は 2009 年から 2 年目)

霞ヶ浦・北浦の水源地保全、生物多様性の保全、地域活性化、国際交流、環境教育の場の提供、社員の環境意識の向上を目的に、R I C E (Rural Investment in the Community and Environment) P r o j e c t を実施します。

1. 業務内容

- (1) 棚田・谷津田の回復
- (2) 子どもたちへの環境教育
- (3) 棚田・谷津田での米作り(田起し、代掻き、田植え、草取り、稲刈り、脱穀、餅づくり、日本酒酒醸造)
- (4) 個別プログラムの実施
- (5) その他上記各事項に関連する業務

2. 事業計画

鹿嶋市山之上	田植え (5 / 9) 稲刈り もちつき
潮来市清水	田植え (5 / 22) 草取り (6 / 19) 稲刈り 仕込み 蔵出し

3. 収支計画

(収 入)

委託費	5,800,000 円
-----	-------------

(支 出)

業務委託費	子どもたちへの環境教育	370,000 円
	棚田・谷津田での米づくり(もち米 200 m ²)	150,000 円
	棚田・谷津田での米づくり(酒米 500 m ²)	700,000 円
	ボランティア活動実施	2,210,000 円
	餅づくり、酒醸造	1,530,000 円
	マネジメント・コーディネーション	840,000 円
合計		5,800,000 円

○ UBS証券会社、牛久市との協働事業 「霞ヶ浦水源の森づくり」
 (UBS証券会社の寄付による牛久市委託 2009年から2年目)

霞ヶ浦流域の水源地の保全・再生、また緑化推進および地球温暖化防止のための二酸化炭素吸収源対策として、牛久市本来の里山づくりを行うことを目的に、霞ヶ浦水源の森づくりのための植樹を行います。

この事業はUBS証券会社が牛久市に寄付(ふるさと納税制度を利用)し、牛久市がアサザ基金に委託するかたちで実施されます。

1. 業務内容

- (1) 植樹イベントの実施
- (2) 整地作業
- (3) 植栽用支柱、看板設置
- (4) 植樹前植生・生物調査
- (5) 植栽維持管理

2. 事業計画

植樹イベント(4/3) 参加者35名、植栽本数93本

3. 収支計画

(収入)

委託費	2,700,000円
-----	------------

(支出)

業務委託費	植栽イベント費	2,007,429円
	植樹後維持管理費	404,000円
	管理費	160,000円
	消費税	128,571円
合計		2,700,000円

○ ホギメディカル谷津田再生プロジェクト

(株)ホギメディカル委託事業 牛久市との協働事業 2009年から2年目)

アサザ基金で行っている霞ヶ浦流域での自然再生事業と連動し、ホギメディカルの役職員及びその家族を対象に、環境意識の向上を目的に、米作りなど谷津田再生を通じた年間の自然体験プログラム「谷津田再生プロジェクト」を実施します。

1. 業務内容

- (1) ホギメディカルの役職員及びその家族を対象にした米作りを中心とした自然体験プログラムの計画立案

- (2) 谷津田における維持管理、基盤整備、米作りの業務
- (3) 個別プログラムの実施
- (4) その他上記各事項に関連する業務

2. 事業計画

- 田植え・自然観察 (5/29)
- 草取り・自然観察 (7/24)
- 稲刈り・自然観察
- 地酒仕込み・自然観察
- 新酒蔵出し・自然観察

3. 収支計画

現在、契約手続きをすすめているため積算中です。

○ 緊急雇用対策としての谷津田再生事業

(牛久市委託事業 2009年から2年目)

自然と共生するまちづくりのモデルとして谷津田の再生と環境の保全をはかるとともに、新しい農業の在り方を探ることを目的に、水田の復元及び管理等の業務を行います。

この事業は離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する等の目的で国が交付する補助金により実施されます。

1. 業務内容

- (1) 水田の復元(除草、耕運、くろぬり、代掻き、除根等)及び管理
- (2) 草刈等管理、水路補修及び生物調査

2. 事業計画

対象面積：10,000㎡
 復田面積予定：約1,200㎡

3. 収支計画

(収入)

委託費	7,751,100円
-----	------------

(支出)

業務委託費	人件費・交通費・農機具購入費等	7,751,100円
合計		7,751,100円

○ 霞ヶ浦・北浦の水源地となる里山の保全事業<1997年から継続>

霞ヶ浦・北浦に良質な水を供給するために、荒廃した谷津田や周辺森林の保全に努めています。流域の環境NPOとの連携による森林ボランティア体験事業「一日きこり」を引き続き実施していきます。(実施予定日は行事予定を参照)

● 地域循環型社会構築に関わる事業

○ 森と湖と人と農をつなげるビジネスモデル事業

湖と漁業・農業・流通業・地場産業・住民をつなぎ、経済活動の中に環境保全の働きを組み込んだモデル事業として、アサザプロジェクトの魚粉事業は外来魚の水揚げが本格的に行なわれてからは満4年がたちました。(北浦・霞ヶ浦環境パートナーシップ市民事業が結成されてからは5年)

モノとお金の新しい流路が立ち上がり、湖がよるこぶ野菜たち[®]も店頭ではすっかりおなじみの顔になりました。商品アイテムも周年栽培のキュウリを始めとして、ソラマメやゴボウ、ブロッコリーなどと彩りが加わりました。当初魚粉加工費に充てていた魚粉と引き換えの事業協力金も、当初の2,000円から3,500円となりました。その差額を魚体の買い上げ費に充当することが出来るようになりました。ここへきてようやくビジネスが見えてきた、という状態にあります。今後は持続性を確保するために、助成金に頼らない事業展開のための様々な方策をとっていくこととなります。

魚粉事業2009年度は以下の方針をもって取り組んでまいります。

- 参画する農家と商品アイテムを増やしブランドバリューを高めること。
- 事業に参画する農家を消費者が評価するための「ものさし」の具現化をはかること。
- 事業の裾野を広げるために、牛久のバイオマス等の取り組みとリンクすること。
- ビールやスナック菓子などの加工品への需要拡大をはかること。

1. 事業計画

湖の生態系を脅かす外来魚の捕獲水揚げを地元漁協に依頼して行ないます。目標は100t。魚粉使用量と作物または畑における肥料削減量を把握し、「ものさし」として公表する仕組みをつくります。

自立化へ向けたブランド力強化のため品目の拡充や販売エリアの拡大を図ります。

ブランド産品とそれに関わる物語(事業内容)の告知宣伝。

水産体験ツアー、産地体験ツアーなどを行い、広く消費者の参画を促す。

自立化へ向けて事業の分析や課題出しを行い、商品の品目拡充や多くの農家の参画を促すために広く呼びかけを行います。

1. 収支計画

- ◎ 三井物産環境基金から約 80 万円の助成金をいただきます。
- ◎ 積水ハウスマッチングプログラム「積水ハウス環境基金」から 50 万円の助成金をいただきます。

○ 「人も河童も喜ぶWIN-WIN型循環社会の構築」

キャノンマーケティングジャパン株式会社協働事業 (2009 年度から継続)

流域に広がる耕作放棄地の再生、外来魚の駆除・魚粉化による生物多様性保全・水質浄化、食用油となる資源作物の栽培、廃食油のBDF化と利用推進等を目標に設定し、霞ヶ浦流域を活性化するための取り組みを昨年度から進めてきました。2010 年度は牛久市内の耕作放棄地の再生を行い、そこでヒマワリを栽培、油をとり、成果物を作り上げていきます。この各段階に社員ボランティアが参加し、事業を進めていきます。

収 支 計 画

(収 入)

人も河童も喜ぶWIN-WIN型循環社会の構築	1,000,000 円
------------------------	-------------

(支 出)

耕作放棄地再生、ヒマワリ栽培費	1,000,000 円
合計	1,000,000 円

○ 「牛久市バイオスタウン構想の推進協力、市民への普及」

(2007 年度から 3 年目)

アサザ基金は 2007 年度に牛久市バイオスタウン構想の策定を行いました。その後、牛久市とともに地域循環型社会構築や脱地球温暖化に向けた様々な取り組みを推進し、多方面で成果を上げています。今年度はバイオスタウン構想の展開に合わせた学習プログラムを牛久市立下根中学校やその他の小中学校と連携して進めていきます。

業 務 内 容

- ① 牛久市バイオスタウンを題材にした学習プログラムの展開などアサザプロジェクトの特色を活かした展開をはかります。

○ 「廃食用油バイオディーゼル燃料化事業」 (2009 年度から 2 年目)

牛久市バイオスタウン構想の一環として、茨城県の緊急雇用対策事業の一つであるふるさと雇用再生事業を牛久市から受託し、バイオディーゼル燃料の製造、原料となる廃食用油回収などを昨年同様に実施します。

1. 業務内容

- ① 市内の廃食用油回収拠点での廃油の回収
- ② 回収した廃油でBDFを製造する
- ③ できたBDFを協力機関へ提供する

2. 収支計画

(収入)

廃食用油バイオディーゼル燃料化事業業務委託費	8,799,000円
------------------------	------------

(支出)

人件費	5,459,000円
業務運営費	3,340,000円
合計	8,799,000円

● 複数の事業にかかわる助成など

○ 「アサザプロジェクト～環境を機に活性化する地域社会」

(三井物産環境基金助成事業 実施期間：2009年10月～2012年9月)

1. 事業計画

(1) “生きものと共生するまちづくり” 学習プログラムの流域展開

牛久市やそれ以外の流域市町村での実施をすすめていきます。

(2) 地産地消による地場産業の活性化と循環型社会構築

水源地保全の米粉を利用した新しい霞ヶ浦ブランドのせんべいを、(有)大形屋さんと協働で開発していきます。販売先の拡大など販売戦略の検討を行います。

(3) “アサザ” “天然ウナギ” 復活に向けた政策提言と流域内の合意形成

流域の子供たちがこれまで取り組んできた学習の成果でもある“アサザ”群落等の湖岸の植生帯保全にむけ、「冬期の水位上昇管理の見直し」や導水事業の代替案として「逆水門の柔軟運用の提案」を県内の国会議員や各関係機関に引き続き要望していきます。また、里親活動や小学校の環境学習をとおして、湖の問題を市民レベルで共有することを目指します。

2. 収支計画

(収入)

繰越金	¥ 2,757,514
助成金	¥ 3,000,000
合計	¥ 5,757,514

(支出)

人件費	¥3,850,000
交通費	¥200,000
備品購入費	¥200,000
作業委託費	¥1,000,000
借料	¥20,000
会議費	¥20,000
印刷費	¥180,000
通信費	¥180,000
その他	¥107,514
合計	¥5,757,514

○ セブン-イレブンみどりの基金より「環境パートナーシップ協定助成金」
(助成期間：2009年3月1日～2012年2月)

セブン-イレブンみどりの基金から、組織運営費（家賃・人件費）として年間3,300,000円の助成をいただきます。ネットワーク展開の基盤とする組織運営を強化、充実させていただきます。

収 支 計 画

(収 入)

助 成 金	3,300,000円	2010年3月～2011年2月分 の家賃・給与
収 入 合 計	3,300,000円	

(支 出)

組 織 運 営 費	3,300,000円	家賃・給与 2010年3月～2011年2月
計	3,300,000円	

○ 積水ハウスマッチングプログラム 「積水ハウス環境基金」
(2010年5月～2011年3月)

環境省認定のエコファースト企業を取得している積水ハウス株式会社が、グループ社員の積立、それに対する会社からのマッチングによって構成されている助成金「積水ハウス環境基金」から、下記の事業に対して助成をいただけることになりました。

- ◎ 森と湖と人と農をつなげるビジネスモデル事業の推進費
- ◎ 霞ヶ浦再生のための水草の苗作り、植え付けの人件費等

収 支 計 画

(収 入)

助成金	1,000,000 円
-----	-------------

(支 出)

森と湖と人と農をつなげるビジネスモデル事業の推進費	500,000 円
霞ヶ浦再生のための水草の苗作り、植え付けの人件費等	500,000 円

○ 東京電力株式会社社員受け入れ

東京電力株式会社社会貢献の一環として、派遣社員 1 名を平成 16 年度から受け入れています。今年度も継続します。

(主要内容)

派遣期間	平成 16 年 7 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日
勤務内容	・ 水源地保全の酒米づくり
	・ アサザなどの植生作業補助
	・ 雑木林の手入れ作業補助
	・ その他当法人の事業に付帯する一切の業務補助

○ インターン生の受け入れ

今年度も、(財)損保ジャパン環境財団「CSOラーニング制度」から、希望者を数名受け入れる予定です。昨年度に引き続き、筑波学院大学のオフ・キャンパス・プログラムにも協力する予定です。

● 自主事業

○ アサザの植付会やお花見会等の実施

アサザの植付会を里親、学校や企業ボランティア向けに実施します。植生帯復元事業と連携して行い、アサザの他、マコモやヨシなどの抽水植物の植付けも実施します。植付会やお花見会は、一般市民、里親の参加を促すため公募で実施します。

○ 水源地再生によるオリジナル地酒「広がれあさざの夢」の流域ブランド化

水源地保全活動として再生した谷津田で栽培した米を原料に、「広がれあさざの夢」が 2 つの酒蔵（白菊酒造<石岡>、田中酒造<取手>）で製造、カスミやジャスコ土浦で販売されています。今年度も好評をいただいたギフトパッケージの商品化を進め、新たな販売先を飲食店も含め、進めていきます。

○ カムバックウナギプロジェクト

世界で絶滅が心配されているウナギをテーマに、水環境の変化を検証します。身近な里山のため池や水路から河川、湖、海へとつながる生きものの道、ウナギの移動路の再生を通して、トータルな水のつながりを取り戻し、流域ぐるみでの自然再生につなげたいと考えています。流域住民に逆水門の柔軟運用への理解を深めるきっかけになればと思います。アンケート調査を継続して行います。

○ ホームページの運営

即応性の高いホームページの運用を強化し、多様な情報を蓄積して更に価値の高いサイトをめざすと同時に、わかりやすい内容、構成とするため、リニューアルを検討しています。

○ 会報の発行

会報を年3回（3月、7月、11月）発行し、会員や協力者に配布します。また、「行事案内」を随時発行し会員向けに発信します。

○ 視察、講演の受け入れ

企業、行政、大学、市民団体などからの視察や講演を受け入れ、アサザプロジェクトの活動内容を多くの方々に理解していただくことに努めます。

○ 政策提言

逆水門の柔軟運用や水位管理、バイオマスエネルギーの活用など、霞ヶ浦・北浦の環境再生に向けた実現可能な提案を市民団体や漁業者団体、農協などと協力して粘り強く進めていきます。

○ 県内外各地の活動との連携

潮来ジャランボプロジェクト実行委員会、鹿嶋市まちづくり市民センター、菜の花プロジェクト、霞ヶ浦元気シンポ実行委員会、NPO 法人エコタウン銚田、ラムサールネットワークジャパン、ジャワンなど、官民を問わず流域団体との交流を積極的に行います。

○ 霞ヶ浦再生ブランド 「湖がよろこぶ煎餅プロジェクト」

水源地保全事業の酒米作りから出来た米粉の他、今年度から原料であるもち米も、谷津田での無農薬栽培によるものを使用して、霞ヶ浦のザザエビを用いた霞ヶ浦再生ブランド「湖がよろこぶ煎餅プロジェクト」を推進します。

アサザプロジェクトと協働中の他企業との連携や、生産拡大に向けた福祉施設への作業委託をおこなうことで、社会的にも付加価値の高い商品を目指します。

行事予定 2010年4月～2011年3月

行事名	開催日	実施場所	備考
一日きこり・銚田市野友	4/18	銚田市	牛久駅集合、貸切バス運行、昼食持参
トンボ公園春作業（後援）	5/2,3	潮来市	現地集合
一日きこり・牛久市遠山	5/23	牛久市	現地集合、昼食持参
市民モニタ「湖の魚を見てみよう」	6/中旬	霞ヶ浦	現地集合、昼食持参
アサザの植付け会	7/下旬	稲敷市	土浦駅集合、昼食持参
トンボスケッチ会（共催）	8/未定	未定	昼食持参
市民モニタ アサザのお花見会	9/月上旬	霞ヶ浦湖畔	土浦駅集合、昼食持参、参加有料
一日きこり・銚田市方面	10/月上旬	銚田市	牛久駅集合、貸切バス運行、昼食持参
一日きこり・牛久市方面	11/中旬	牛久市	現地集合、昼食持参
トンボ公園冬作業（後援）	11/月上旬	潮来市	現地集合
一日きこり・イオンチアーズクラブ（支援）	11/下旬	鹿嶋市	現地集合、昼食持参
一日きこり・銚田市方面	12/中旬	銚田市	牛久駅集合、貸切バス運行、昼食持参
一日きこり・牛久市方面	1/下旬	牛久市	現地集合、昼食持参
一日きこり・銚田市方面	2/中旬	銚田市	牛久駅集合、貸切バス運行、昼食持参
一日きこり・牛久市方面	3/下旬	牛久市	現地集合、昼食持参

※開催日や場所に変更される場合があります。

- 参加募集中の行事は、会報・行事案内・ホームページなどで随時お知らせ致します。参加費や集合時間などご不明な点はアサザ基金事務局までお問合せ下さい。
- この表にない行事が企画されることがあります。会報・行事案内・ホームページ等でお知らせいたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております！